

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		予防接種事業			担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3346
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	■ 自治事務 ■ 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり		根拠法令 個別計画等	予防接種法 深谷市行政措置予防接種実施要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業はA類疾病（ロタ胃腸炎、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、結核、麻疹、風疹（第5期含む）、水痘、日本脳炎、子宮頸がん）及び、B類疾病（高齢者インフル、高齢者肺炎球菌）の発症・重症化防止として、予防接種法・市行政措置予防接種実施要綱に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。令和2・3年度は新型コロナ臨時予防接種を実施。								
目的 ※何のために		A類疾病の発生及び蔓延予防、B類疾病の個人の発病また重症化防止のため。								
対象 ※誰・何を対象に		・予防接種法または深谷市行政措置予防接種実施要綱に定められた年齢の市民								
手段 ※どのように		・委託医療機関での個別接種 ・臨時予防接種は集団接種及び個別接種								
成果 ※何を求めるか		A類疾病については予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、高い接種率を確保することができる。B類疾病については予防接種の機会を安定的に提供できる。								
執行体制		■職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NP0等 □その他（								

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画				・定期及び行政措置高齢者肺炎球菌制度の継続・風疹追加的対策導入	・ロタワクチンの定期接種導入 ・臨時予防接種（新型コロナ）導入準備	・臨時予防接種（新型コロナ）の実施	・風疹追加的対策の継続・子宮頸がんキャッチアップ接種の開始 ・臨時予防接種（新型コロナ）継続
事業費	予算（現額）	378,153,000	373,157,000	424,173,000	513,025,000	1,666,810,000	1,900,155,000
	決算額	367,111,736	361,507,692	359,394,326	461,753,082	1,545,832,010	0
	財源内訳	国支出金	0	10,679,000	58,973,512	1,146,624,561	982,948,000
		県支出金	0	11,000	29,017,000	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	730	0	2,345,277	0
	一般財源	367,111,736	361,507,692	348,703,596	373,762,570	396,862,172	917,207,000
人件費	従事職員数（人）	1.58	1.38	1.38	1.68	5.43	4.95
	人件費相当試算※	12,290,820	10,739,160	11,184,900	13,668,480	42,147,199	40,250,173
総事業費試算		379,402,556	372,246,852	370,579,226	475,421,562	1,587,979,209	1,940,405,173

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	接種勧奨回数	目標値	回	10	20	20	21	21	22	
		実績値		19	20	21	22	42	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		接種状況を見ながら啓発を図る。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	麻しん風しん（第1期）接種率	目標値	%	95	95	95	95	95	95	
		実績値		98.8	99.7	94.3	99.9	98.6	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における接種率を目標値として設定 / 接種率							
	実績値の算出式									
成果指標 2	高齢者インフルエンザ接種率	目標値	%	0	60	60	60	60	60	
		実績値		55.3	54	57.8	71.4	66.9	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績から目標値を設定 / 接種率							
	実績値の算出式									
成果指標 3	1歳～就学前までの麻しん罹患率	目標値	%	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における目標値と同様 / 罹患率（保健所：感染症発症動向							
	実績値の算出式									
成果指標 4	1歳～就学前までの風しん罹患率	目標値	%	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における目標値に連動して設定 / 罹患率（保健所：感染症発症動向							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	毎月、乳児・学童期の予診票等を発送。新生児訪問・乳幼児健診や学校保健と連携し接種勧奨を行った。接種率に応じ個別通知により接種勧奨し、特に子宮頸がん予防ワクチンについて積極的接種勧奨が再開となり周知強化、高齢者インフル予防接種の対象者全員へ個別通知を開始した。新型コロナ臨時接種については、計画的に接種券を発行し、広報誌・市ホームページ等できめ細かく周知を図ったことから評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	目標の接種率を維持することができた。高齢者インフル予防接種は自己負担（1,000円）を再開したこと、ワクチンの流通が全国的に滞ったこと等の影響により、前年度より接種率が低下したが、個別通知による周知啓発により令和元年度以前の接種率を上回った。他の予防接種も接種率が維持でき、新型コロナ臨時接種については、高齢者は初回・追加接種とも試算以上の高い接種率となっていることから評価をAとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	新型コロナ臨時接種の予約のため専用予約管理システムやコールセンターを設置し、内部事務の効率化、市民の利便性を図った。全ての接種記録は健康管理システムにより接種履歴や未接種者情報を管理している。今後、接種記録の管理システムへの取込を職員等による手入力から、パンチデータ化・取込への変更を検討し、データ管理の精度向上、業務の効率化を検討すること、SNSを活用した周知を継続することから評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・新型コロナウイルスワクチン臨時接種の安全・円滑な実施。
達成状況及び その効果	新型コロナウイルスワクチン臨時接種について、随時に国から示される方針に基づき、接種体制の整備、接種券の発送、個別通知による周知、市ホームページ・市メール配信サービス等での啓発により、安全・円滑な実施と周知に努め、高い接種率を達成することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予防接種事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3346
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div>□ ②現状のまま継続</div> <div>□ ③見直しで継続</div> <div>□ ④目的達成による終了</div> <div>□ ⑤廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルスワクチン臨時接種については、現時点では令和4年9月末までの施行とされている。今後も接種方針等に関する国の動向に注視しながら接種を進めていく。 併せて、定期・行政措置予防接種についても、感染症予防の観点から、接種率の維持・向上を目指し周知・啓発を図っていく必要がある。また、予防接種法改正に基づき、令和4年度より、子宮頸がん予防ワクチン及び風しん追加的対策の改正があることから、円滑な実施に向けて対応を進めていく。 事業の効率性について、膨大な接種記録を正確かつ効率的に管理するための改善方法について、見直しを検討していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・新型コロナウイルスワクチン臨時接種について、国の動向に注視しつつ、接種期限を見据えた安心、円滑な接種の継続 ・予防接種法の改正に基づく円滑な予防接種の導入・実施 ・接種記録データ管理の精度向上、効率化を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・接種率の維持、向上及び接種データ管理の精度向上、効率化を図る。

8. 評価指標グラフ

